



令和4年12月5日14時00分
資料配布 インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム 事務局

**インフラの維持管理の課題を解消する最新技術を
民間事業者が発表されます。
～12月16日 第8回ピッチイベントを開催～**

「インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム」では、施設管理者が抱えるインフラの維持管理の課題(ニーズ)に対し、民間事業者が保有する技術(シーズ)の発掘と活用を図る「第8回ピッチイベント」を開催します。

1. 日時、場所

日 時 : 令和4年12月16日(金) 13:00～17:00(12:30受付開始)
場 所 : 大阪合同庁舎第一号館 会議室(大阪市中心部中央区大手前1丁目5-44)

2. ピッチイベントテーマ

別紙1 の5 テーマに対し、民間事業者から技術の提案をしていただきます。

3. 傍聴の募集

別紙2「募集要領」を確認のうえ、別紙3「傍聴参加申込書」より応募をお願いします。

※ 事前申込み制となっております。定員は80名で先着順のため、定員に達し次第、締切といたします。

※ 本イベントは後日、下記近畿本部フォーラムのHPにてオンライン配信を予定しています。

近畿本部フォーラムHP: <https://infurakinkihonbu-online.jp/>

4. 取材について

本ピッチイベントは全て公開とさせていただきます。

取材を希望される方は、別紙4「取材申込書」を確認のうえ、事前に申込をお願いします。

(参考)

「インフラメンテナンス国民会議」とは、社会全体でインフラメンテナンスに取り組む機運を高め、未来世代によりよいインフラを引き継ぐべく、産学官民が有する技術や知恵を総動員するために設立されたプラットフォームです。

(詳細は<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/im/index.html>をご参照下さい。)

＜取扱い＞ _____

＜配布場所＞ 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ

＜問合せ先＞

インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム 事務局

一般社団法人 国土政策研究会 関西支部 TEL 06-6567-8198(担当者直通)

第8回 ピッチイベントテーマ

テーマ1：空洞調査に係る技術

【ニーズ概要】

現状、路面下の空洞調査は、狭い幅員の道路や街渠近くまで調査するにはかなり手間がかかり、検知精度も良いとは言えない。このような箇所ですピーディーかつ、精度良く空洞を検知することができる技術を求める。

【求める技術】*①、②、③のいずれかの技術

- ①狭い幅員でも走行可能で、街渠の近くまで路面下の空洞検出ができる技術
 ②側線だけでなく、ある程度幅をもって面的に探査することで空洞検出率上がる技術
 ③空洞原因の推定の、し易さにつながる技術

【求める条件】

- ・街渠近くでも調査可能なこと
- ・低コスト

【応募のあった技術名・技術概要】

- ・GMS3(三次元地中レーダ探査モバイルマッピングシステム) 求める技術番号：①、②
 地下情報と地上情報の全方位連続取得による高精度な三次元マッピングシステム。路面下の空洞、埋設物、構造物の非破壊調査が可能。

テーマ2：街路樹の点検に係る技術

【ニーズ概要】

樹木の空洞を探す技術を求める。

【求める技術】

- ①樹木の空洞を効率的かつ簡易に検知することが出来る技術

【求める条件】

- ・車両、ドローン等移動しながら空洞を検知出来ること。
- ・樹木の位置が特定できること。

【応募のあった技術名・技術概要】

- ・走行車両による連続式赤外線熱計測技術 求める技術番号：①
 舗装のはく離の検出を目的とし、赤外線カメラを車両に搭載し連続的に計測する技術の、赤外線カメラを横に向け街路樹を撮影することで、街路樹の異常を検知する。

※ 各テーマに記載している【求める技術】【求める条件】は、令和4年10月13日に開催した「第10回フォーラム」の討議結果を踏まえたものです。

※ ピッチイベントの結果、公共施設管理者のニーズに適應する可能性が高いと認められた技術については、実用化の可能性を検証するフィールド実証実験の実施を想定しています。なお、実証実験に必要な諸費用については、原則、民間事業者などのご負担とします。

テーマ3：近接困難な構造物の点検に係る技術	
【 ニーズ概要 】 砂防えん堤や電波状況が悪くドローンなどによる構造物点検が困難な箇所や堆砂状況の確認及び以下のような近接困難な箇所にある構造物の点検において近接目視と同等の診断が可能な技術 ・河川における護岸裏や垂直護岸の堤外側 ・樹木繁茂箇所 ・密集市街地の都市部で私有地への立ち入り困難な場所	
【 求める技術 】 * ①、②のいずれかの技術 <u>①衛星画像からの差分解析技術</u> <u>②近接困難な構造物にドローン等で接近する際に用いる自動操縦用マーキング設置方法</u>	
【 求める条件 】 ・差分解析技術においては砂防施設の堆砂量などを把握できる事 ・近接困難な構造物に対して目視に相当する画像を得られる事	
【 応募のあった技術名・技術概要 】 ・進入困難な水路等における、無人自律小型船を用いた点検 求める技術番号：② 進入困難な水路等における、無人自律小型船を用いた点検技術 ・小型ドローンを用いた狭小部点検 求める技術番号：② 小型ドローンを用いた狭小部点検技術 ・ハンダーゲットによる遠距離画像撮影を用いた簡易的変位監視システム 求める技術番号：① ハンダーゲットによる遠距離画像撮影を用いた簡易的変位監視システム	

テーマ4：路面性状調査の画像解析に係る技術	
【 ニーズ概要 】 路面性状調査等で取得した画像から、区画線の劣化状況を定量的に判定する技術を求める。	
【 求める技術 】 <u>①画像データからAI技術の活用等による客観的に区画線等の健全度評価ができる技術</u>	
【 求める条件 】 ・蓄積した画像データを区画線等の健全度評価に活用できる事 ・評価者によるバラツキを排除するため、客観的な評価(定量的数値、AI活用など)を実施できる事	
【 応募のあった技術名・技術概要 】 ・路面性状調査の画像解析に係る技術 求める技術番号：① 区画線(路面標示)のカスレのスマートフォンによるAI解析技術 ・汎用型全自動人工知能生成システムによる白線損傷検知の提案 求める技術番号：① 現在、路面性状調査のひび割れ検出に使用しているが、ひび割れ以外でも教師データを与えれば任意画像から任意オブジェクトを検出するAI作成が可能となる技術 ・路面性状調査の画像解析に係る技術 PG-4 求める技術番号：① 路面検査コンパクトユニット PG-4のひび割れ、ポットホール、わだち掘れなどの解析技術	

※ 各テーマに記載している【 求める技術 】【 求める条件 】は、令和4年10月13日に開催した「第10回フォーラム」の討議結果を踏まえたものです。

※ ピッチイベントの結果、公共施設管理者のニーズに適應する可能性が高いと認められた技術については、実用化の可能性を検証するフィールド実証実験の実施を想定しています。なお、実証実験に必要な諸費用については、原則、民間事業者などのご負担とします。

テーマ5：橋梁点検に係る技術	
【ニーズ概要】 精度、費用が橋梁点検車による点検と同程度で、通行規制を軽減して点検を行える技術を求める。	
【求める技術】 ①橋梁点検の品質を落とさず点検日数を削減できる技術	
【求める条件】 ・点検ロボットカメラやドローン機器の採用 ・機器で得られた画像に対する診断技術(AI)の採用 ・通行止め日数や点検費用の削減ができる事	
【応募のあった技術名・技術概要】	
・小型ドローンを用いた橋梁狭小部点検 小型ドローンを用いた橋梁狭小部点検技術	求める技術番号：①
・動画画像変位計測システム Zoom300 動画撮影により、簡単に動的たわみ・変位を計測する技術	求める技術番号：①

※ 各テーマに記載している【求める技術】【求める条件】は、令和4年10月13日に開催した「第10回フォーラム」の討議結果を踏まえたものです。

※ ピッチイベントの結果、公共施設管理者のニーズに適応する可能性が高いと認められた技術については、実用化の可能性を検証するフィールド実証実験の実施を想定しています。なお、実証実験に必要となる諸費用については、原則、民間事業者などのご負担とします。

募 集 要 領

1. 参 加 資 格

インフラメンテナンス国民会議 会員

- * インフラメンテナンス国民会議の会員でない機関は、応募にあわせて会員登録
ご検討頂きますよう、よろしくお願いします。会員登録については、
<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/im/login/index.htm>をご参照下さい。

2. ピッチイベントテーマ

別紙1をご参照下さい。

3. 開催方法

ピッチイベントは、会場開催及びオンライン配信（後日配信）を予定します。

■会場開催

- ・傍聴場所：大阪合同庁舎第一号館 会議室（大阪市中心区大手前1丁目5-44）
- ・定員：80名（先着順）

■オンライン配信について

- ・下記近畿本部フォーラムのHPにてオンライン配信を予定しています。
近畿本部フォーラムHP：<https://infurakinkihonbu-online.jp/>

※ 2022年1月上旬頃、配信開始予定

4. 応募手続き

【Webフォームによる応募について】

下記URLのWebフォームより応募をお願いします。

申込フォームURL：<https://form.infurakinkihonbu.jp/8th-pitchevent>

【用紙による応募について】

応募方法：【別紙3】「傍聴参加申込書」に必要事項を記入のうえ、下記応募先のアドレスに
送付をお願いします。

応募期間：12月5日（月）から12月12日（月）12:00まで

応募先：インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム事務局
（一般社団法人 国土政策研究会関西支部）

アドレス：kansaishibu-jimukyoku@kokuseiken.or.jp

5. その他

- * 最新情報や申請書等については、下記近畿本部フォーラムHPよりご確認ください。申請書の電子
データや、留意事項については、下記HPよりご確認ください。

■ <https://infurakinkihonbu.jp/718/>

- * 過去のピッチイベント等の開催状況は、下記URLよりご参照下さい。

■ <https://infurakinkihonbu.jp/activity/event/>

第8回ピッチイベント プログラム(案)

1	開会		13:00 ～ 13:05
2	来賓挨拶		13:05 ～ 13:10
3	テーマ1	空洞調査に係る技術 ・技術(シーズ)提案:1社	13:10 ～ 13:35
4	テーマ2	街路樹の点検に係る技術 ・技術(シーズ)提案:1社	13:35 ～ 14:00
5	テーマ3	近接困難な構造物の点検に係る技術 ・技術(シーズ)提案:3社	14:00 ～ 15:05
6	休憩		15:05 ～ 15:15
7	テーマ4	路面性状調査の画像解析に係る技術 ・技術(シーズ)提案:3社	15:15 ～ 16:10
8	テーマ5	橋梁点検に係る技術 ・技術(シーズ)提案:2社	16:10 ～ 16:50
9	総評、閉会		16:50 ～ 17:00

* プログラムの時間は予定であり、時間が前後する可能性があります。

【新型コロナウイルス感染拡大防止に関する留意事項】

- ・ 咳などの風邪症状、発熱等、体調不良のある方は参加をご遠慮下さい。
- ・ 頻回に咳をする方がいた場合、退席を要請する場合があります。
- ・ イベント開催中のマスクの着用など、参加される方ご自身で感染予防対策をお願いします。
- ・ うがい、手洗いの励行をお願いします。
- ・ 参加者への感染防止を考慮し、職員はマスク着用等によりご案内させていただきます。
- ・ 今後の拡大状況等を鑑みまして、延期・中止等の判断をさせて頂く場合があります。

**インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム
第8回ピッチイベント
傍聴参加申込書**

令和4年 12 月 日

フリガナ 企業・団体 名 称					
所在地	〒				
	氏 名	所 属	役 職	電 話 番 号	メー ル ア ド レ ス
1 参加者 (代 表)					
2 参加者					
3 参加者					
4 参加者					
5 参加者					
6 参加者					

※申込は電子メールにて行ってください。

申 込 み ア ド レ ス kansaishibu-jimukyoku@kokuseiken.or.jp

※件名は『ピッチイベント傍聴応募』として下さい。

※ ご記載いただいた個人情報については、ご本人の同意なく、当ピッチイベント以外で利用することはありません。

【問合せ先】

インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム 事務局

一般社団法人 国土政策研究会 関西支部 TEL 06-6567-8198(担当者直通)

【新型コロナウイルス感染拡大防止に関する留意事項】

- ・ 咳などの風邪症状、発熱等、体調不良のある方は参加をご遠慮下さい。
- ・ 取材の途中で頻回に咳をする方がいた場合、退席を要請する場合があります。
- ・ 取材中のマスクの着用など、参加される方ご自身で感染予防対策をお願いします。
- ・ うがい、手洗いの励行をお願いします。
- ・ 参加者への感染防止を考慮し、職員はマスク着用等によりご案内させていただきます。
- ・ 今後の拡大状況等を鑑みまして、延期・中止等の判断をさせて頂く場合があります。

インフラメンテナンス国民会議 近畿本部フォーラム 第8回ピッチイベント

取材申込書

①所属(会社名)	
②連絡先(TEL)	
③連絡先(メールアドレス)	
④氏 名(参加者 1)* 代表	
⑤氏 名(参加者 2)	
⑥氏 名(参加者 3)	

※申込は電子メールにて行ってください。

申 込 み ア ド レ ス kansaishibu-iimukyoku@kokuseiken.or.jp

【備 考】

- ・取材は必要最低人数でお願いします。
- ・複数名の参加を希望される場合は、全員分のお名前を御記入下さい。
- ・連絡先は、参加者1(代表) の連絡先をご記入ください。

【受信確認先】

インフラメンテナンス国民会議近畿本部フォーラム 事務局

一般社団法人 国土政策研究会 関西支部 TEL 06-6567-8198(担当者直通)